各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会 杵島農業改良普及センター

「稲作情報(第7号)」について(送付)

このことについて、下記のとおり「稲作情報(第7号)」を送付しますので、業務の参考にしてください。この情報はホームページ(以下URL)にも随時公開しています https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00323270/index.html

杵島農業改良普及センター



1. 気象概況

アメダス観測値(白石)

		平均気温			盾	是高気温		最低気温			降水量			日照時間		
月	半旬	平年	R3	平年差	平年	R3	平年差	平年	R3	平年差	平年	R3	平年比	平年	R3	平年比
		(°C)	(mm)	(mm)	(%)	(hr)	(hr)	(%)								
	1	21.6	22.1	0.5	27.6	26.8	-0.8	16.7	18.2	1.5	21.8	56.0	257	25.9	13.8	53
	2	22.3	24.6	2.3	27.8	31.2	3.4	17.8	19.1	1.3	28.6	0.0	0	23.0	45.6	198
6月	3	22.8	24.4	1.6	27.9	28.0	0.1	18.7	21.8	3.1	40.9	54.0	132	21.2	13.7	65
ОД	4	23.3	23.6	0.3	27.9	28.3	0.4	19.7	20.2	0.5	58.6	39.5	67	18.8	24.5	130
	5	23.9			28.1			20.6			74.3			15.4		
	6	24.6			28.4			21.6			84.4			14.1		

^{○6}月4半旬の平均気温は、平年に比べて0.3℃ほど高く推移した。また、日照時間は多照傾向となった。

向こう 1 か月の気温は、ほぼ平年並ですが、寒気の影響を受ける時期があるため、1 週目の気温は平年並か低いでしょう。向こう 1 か月の降水量と日照時間は、ほぼ平年並でしょう。

2. 水稲情報田の生育状況 (調査日:6月19日)

項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎数 本/m²	主 稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概 要
-	本 年 値	75. 3	6 3 4	13. 2	37. 2	・草丈は平年に比べやや高く、 茎数は多い。
コシヒカリ	平年値	72. 0	5 6 1	13. 0	36. 1	・主稈出葉数は平年より0.2葉多い。葉色は平年より濃い。
	平年比(差)	105	113	+0. 2	+1. 1	・現在止葉出葉中である。 ・幼穂長 50~55mm 葉耳間長 -5~-7cm程度

※ 平年値は、H23~R2 年度の平均値 ※耕種概要は稲作情報 NO 1 参照

(管内の生育状況)

- ○現在、生育ステージは、穂孕み期を迎えている。
- ○情報田は、葉耳間長からみた出穂日は7月1日頃と予想される。
 - 6月21日実施した巡回調査からは、出穂予想は6月24日頃~7月2日頃であった。
- ○生育が旺盛で葉色が濃い圃場では、葉いもち病の病斑(停止型)を確認した。

3. 今後の管理

1) コシヒカリ

(1) 水管理

・「コシヒカリ」は、穂孕期を迎えている。

[《]福岡管区気象台の1か月天気予報(6月17日発表)(予報期間 6月19日から7月18日まで)

・幼穂形成期から出穂期にかけては要水量が増加する時期である。特に<u>穂孕み期から穂揃期(6月20日頃</u> ~7月7日)は浅水管理とする。また、台風等が接近する場合は、出来るだけ深水管理とする。

(2)病害虫防除

- ・<u>「七夕コシヒカリ」は県特別栽培農産物に応じた栽培を取組んでおり、農薬成分回数9成分を超えないような栽培管理が重要である。</u>そのためにも、まずは病害虫が発生しにくい環境づくりのための耕種的防除(置き苗の除去、過剰分げつ抑制のための適切な水管理、畦畔除草管理等)を行う。
- ・今後、長梅雨で推移すると「いもち病」や「ウンカ類」の多発生が6月末以降予想されるので 発生状況を把握した防除が重要となる。

①ウンカ類

・本年は、平年に比べ20日早い梅雨入りとなり、梅雨前線に伴い海外飛来性害虫であるウンカ類が 確認されている。(表1参照)また、当管内では、5月末から水稲の株元にセジロウンカの産卵痕を 確認しており、6月19日に実施した25株はらい落とし調査結果は表2のとおりである。

今後の発生状況に留意して場合によっては臨機防除が必要となる。

※臨機防除が必要な場合は、病害虫防除情報を追ってお知らせする(JA 営農情報として発信する)

≪表1海外飛来性害虫(トビイロウンカ・セジロウンカ)誘殺状況≫ 佐賀県農業技術防除センターHP 参照

	トビイロウンカ						セシ	ジロウンカ		コブノメイガ				
		佐賀県		長崎	奇県	佐賀県						佐賀県		長崎県
	佐賀市		嬉野	諫		佐賀市		嬉野	諫	早	佐賀市	白石	武雄	諫早
	ネット	ライト	ライト	ライト	ネット	ネット	ライト	ライト	ライト	ネット	トラップ゜	トラップ゜	トラップ゜	トラップ
5/11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	-			
5/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			
5/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			
5/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_			
5/15	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	_			
5/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_			
5/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-			0
5/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
5/19	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				0
5/20	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	_			0
5/21 5/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
5/23	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	_			0
5/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_			0
5/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
5/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
5/27	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1			0
5/28	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0			0
5/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
5/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
5/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
6/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0
6/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	1
6/3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	7	0			0
6/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	Ĭ	Ŭ	0
6/6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0			1
6/7	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2			0
6/8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
6/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2			3
6/10 6/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
6/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1		0
6/14		0	0	0	0	-	-	0	0	0	0			0
6/15				0	0				0	0				0
6/16				0	0				0	0				0
6/17				–	0				_ ~	0				0
6/18					_							•		
6/19														
6/20									1	1				
0/20							l							

≪表2 管内におけるウンカ類の払い落し調査結果≫

調査日	セジロ	ウンカ	トビイロ	ロウンカ	ヒルビ	・ウンカ	備考		
6月19日	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	1		
4月5日移植	63	10	2	0	79	3	コシヒカリ(白石町) ※箱施薬剤無施用		

^{※25}株払落し総数を計上している。

②葉いもち病

- ・圃場にある『置き苗』は、葉いもち病の発生源になるため、すぐに除去する。
- ・6月に入り、天候はじめじめとした曇天で推移したことで、生育が旺盛で葉色が濃い圃場では、葉いもち病の病斑を確認しており薬剤防除を行う。とくに発生が多いと予想される場合(上位3葉に葉いもち病の病斑を確認した時)には、穂孕期の防除を徹底する。ただし、七夕コシヒカリは県特別栽培認証制度に応じた栽培法を実施しているため、農薬散布する前に生産管理責任者である JA 等指導機関に確認するととともに、農薬成分回数9成分を超えないように留意する。

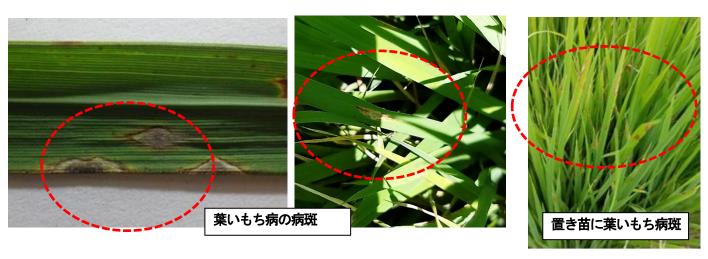
※6月13日、16日~18日にかけて好適条件または準好適条件となっているので、今後曇天が続く場合は、「いもち病」に要注意である。

≪表3 BLASAMによる葉いもちの感染好適条件の出現状況≫ 県防除センターHPより

6月

	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
白石	_	_	2	_	_	_	_	_	_	
伊万里	_	-	-	-	_	4			-	_

- 1: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は20℃未満)
- 2: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温は25℃以上)
- 3: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温は15~25℃の範囲外)
- 4: 準好適条件(湿潤時間は湿潤期間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い)
- ●:好適条件(湿潤時間が長く気温も適当で、葉いもちの感染好適条件が出現した)
- 一:好適条件の出現なし
- ?:判定不能



2) 普通期水稲

≪共通≫

・本年は、出芽期~1葉期にあたる5月末~6月上旬が、日中気温が高く日射量が大きく経過したため、場合によっては出芽不良や出芽後の潅水不足による萎れなどが生じた。

また、被覆資材の除去が遅れたところでは苗質が軟弱徒長ぎみとなっていた。



- ・そのため、以下に特に留意する。
- ○本年の麦類は平年より収量が多く、麦わらの量も多い。

麦わらすき込みを行った圃場では、ガスのわきが予想されるので、**初期生育を促進するため、**

移植前日までに窒素成分で0.5g~1g/箱の弁当肥を施用する。

移植後は、ガス抜きによる水管理が重要である。

○本年は暖冬の影響を受け、<u>スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生が多いことが懸念</u>される。 発生が多い圃場では、特に移植後1週間は**深水にならない様に注意する**。

(1) 「夢しずく」

- ・「夢しずく」は、早いところで6月6日(平坦上部)から始まり、6月12日~16日に移植盛期をむかえた。 今後は、移植時期に応じた水管理を徹底する。除草剤は、薬剤の使用基準を守り、処理後7日経過したら浅水管理に移行する。
- ・ 移植後の断続的な降雨により常時淡水した圃場ではガスの発生が目立っている。さらに前作の残さや、 麦わらが多い水田では、今後ガス(湧き)と還元(酸素不足)が進むことが予想される。「ガスの発生 が著しい場合」は、除草剤処理から7日経過したら、「ガス抜き」のために半日~1日程度の落水を行 う。特に、足を踏み入れずに自然に気泡が出るようであれば直ちに落水する。(表4参照)

≪表4 ガス (湧き) 発生程度及び対策≫

湧きの	様相とガス程度水稲への影響	水稲への影響	ガス対策(7月上旬以降)
程度			
稀	足を踏み込んでも気泡なし	なし	必要なし
少	足を踏み込むとわずかに気泡が見られ	なし	必要なし
	る		
中	足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	落水後に用水更新
多	足を踏み込むと盛んに気泡を発生	根張り不良	落水後に用水更新を繰り返し
甚	晴天時自然に気泡発生する(ぱちぱちと	根伸長阻害、黄化	中耕と用水更新を繰り返し
	音が聞こえる。) 水田歩くと著しく気泡		回復後には、間断潅水(本格的夜
	発生。		干)



手を田んぼに入れると、気泡(ガス)が激しく 発生する

⇒ガスの障害により生育抑制や古い葉の業先

に褐色の斑点が発生する。

・雑草の防除価は、降雨により効果の振れが大きく、圃場によって発生状況を確認して処理時期を逸しない ように行う。

本年は、代掻き作業後の降雨により、田植え作業が計画より遅れて実施している圃場も多い。 田植えまでの期間があき、気温も高く推移したことで雑草発生が早く、場合によっては除草剤の効果が十 分発揮できていない圃場も確認されている。

特に「ホタルイ」の発生を確認する。その場合、中後期除草剤の対応も視野にいれる。

(2) 「さがびより」・「ヒノヒカリ」

- ・「さがびより」は、早いところで6月18日からはじまり、6月19日 \sim 23日に移植盛期をむかえる(見込みである)
- ・水管理等は「夢しずく」を参照する。

(3) 「ヒヨクモチ」

・「ヒヨクモチ」は6月25日以降に移植する。

4. 台風·大雨対策

- ・台風対策は、水稲の生育ステージによって異なるが、本田移植後(活着期以降)は、強風による水稲の茎 葉の水分収奪や損傷を防止するため、必ず深水管理を行う。併せて、台風通過後は、新しい水と入れ替え、 こまめな間断潅水や浅水管理を行って根の機能回復に努める。
- ・近年、集中豪雨による冠水で、クリーク水の流入や、深水状態が続くことにより、スクミリンゴカイの被害拡大が懸念される。そのため、用排水の管理をきめ細かく実施するとともに、食害が多い場合はメタアルデヒド剤等で防除する等の対策を行う。